

第6次朝霞市総合計画（素案）に対する
市民意見交換会

結果報告書

令和7年（2025年）8月

目次

1	実施概要	1
	(1) 実施の目的.....	1
	(2) 開催日時、会場	1
	(3) 参加者	1
	(4) 実施方法.....	1
	(5) 意見交換会開催後の展示.....	1
2	参加者からの主な質問・意見・要望	2
	(1) 総合計画全般について	2
	(2) 基本計画について	2
	第1章 災害対策・防犯	2
	第2章 福祉・こども・健康.....	3
	第3章 教育・文化.....	4
	第4章 環境・市民生活・コミュニティ	4
	第5章 都市基盤・産業振興.....	5
	第6章 政策を推進するための取組.....	6
	(3) 市民意見交換会について.....	7
3	展示パネル	9
4	募集チラシ	18

1 実施概要

(1) 実施の目的

第6次朝霞市総合計画（素案）に対する市民コメントの実施に合わせ、素案の内容等について市民と直接意見交換を行うために開催した。

(2) 開催日時、会場

【開催日時】

第1回 令和7年6月25日（水） 午後5時～午後7時

第2回 令和7年6月29日（日） 午前10時～正午

【開催場所】

第1回 中央公民館・コミュニティセンター 展示ギャラリー

第2回 産業文化センター ギャラリー

(3) 参加者

参加市民 計54人

6月25日 22人

6月29日 32人

(4) 実施方法

実施に当たっては、自由に説明パネルを見ていただき、市の職員が参加者の質問に回答したり、意見を伺ったりするオープンハウス形式で行った。

(5) 意見交換会開催後の展示

6月30日（月）から7月4日（金）まで、朝霞市役所市民ホールに、第6次朝霞市総合計画（素案）のパネルを展示した。

【当日の様子】



< 第1回市民意見交換会の様子 >



< 第2回市民意見交換会の様子 >

2 参加者からの主な質問・意見・要望

※原文のまま掲載しています。

(1) 総合計画全般について

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	全般	目標値のとり方が分かりにくい。
2	全般	災害防犯に目標値があるが、施策が各々どの程度の効果を見込むのか不明。本当にその施策でよいのか、防犯でいうと近時マンションが多いが町内会入会もなく、互いに顔を知らない状況でよいのか？不明。福祉ことも健康、同じ目標に対し各施策効果をどのように見込むのか、具体化必要。高齢者増加とともに健やかに生活するための体づくりとか少ない。3章4章も同様、目標をどう達成するのか各施策の数値目標ないと効果測定できない。現状目標値達成しているものは目標が見直す必要はないのか？北朝霞駅周辺のこの30年間は発展があまり見られなかったのもとても残念です。これだけの乗降客があるので、いかに住民になってもらうかや、商業の発展もありえたと考えますので、次の30年は大発展を期待しております。目標は評価可能な数値目標とし、PDCAを回して下さい。
3	全般	各分野に対して、具体的な数字目標をかかげるのは良いと思います。色々なテーマに対し、大→中→小レベルでの分解も良いと思います。(改善)各施策が並列で記載されているため、重要施策が何なのか分からずです。数値目標を必ず実現させないといけないもの、なんとなく数字目標として設定している？というものもあり、メリハリがあると良いと思います。(見た目も。重要施策については目標値と現在値のギャップを示し、出てきた課題等も入れておくと、なお良いと思います)
4	全般	ICTに関する取り組みをわかりやすく柱立てしたほうが良いのではないかと。
5	全般	自然の残された貴重な地域だと思います。自然がその学びを大切にしつつ、住みやすい町づくりがされていくといいと願います。

(2) 基本計画について

第1章 災害対策・防犯

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱1 災害対策・防犯 中柱(1)災害対策の推進 小柱③災害(地震・火災・水害)に強いまちづくり	防災対策について推進してほしい、具体的には従前は冠水しなかった自宅前の道路冠水対策及び、側溝清掃、除草等を進めてほしい。

第2章 福祉・こども・健康

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱1 地域共生社会の推進 中柱(3)誰もが地域で暮らし続けられるための支援の充実	地域共生の目標に就労者数はミスマッチ。就労できることは良いことだが、様々な自立の積み重ねの結果で目標にすることではない、など指標のミスマッチもある。
2	大柱2 こども・若者 応援、子育て支援	「こどもまんなか社会」の実現に向け、持続可能な社会に向けた施策展開をお願いします。
3	大柱2 こども・若者 応援、子育て支援 中柱(2)こども・若者が夢を思い描くための支援 小柱①青少年育成事業の推進と自主的活動の促進	高校が2校あるからこそ、高校生がよりよい町にしていこうと考えたら、交流をふやしたり、ボランティアとかで、地域の行事とかに高校生として参加したい！部活以外で！公園をしめる時間が早く感じます！
4	大柱2 こども・若者 応援、子育て支援 中柱(2)こども・若者が夢を思い描くための支援 小柱③こども・若者の居場所づくりの推進	プリクラおいてほしいです。とりに行くのに電車にのらなきゃなので近くにほしい！！室内でちょっと軽めに話せる？みたいな所がほしいです。
5	大柱2 こども・若者 支援、子育て支援 中柱(3)子育て家庭を支えるための環境整備	成果指標の養育支援訪問事業と乳幼児全戸訪問事業は別のものか。
6	大柱3 保健・医療 中柱(1)健康づくりの支援 小柱⑤健康増進センターの活用	わくわくどーむのプールが、土日はいっぱいになるので、拡張して欲しい。
7	大柱3 保健・医療 中柱(3)保険事業等の適正な運営	成果指標が「市レセプト点検による過誤調整の効果額」なのはどうなのか。

第3章 教育・文化

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱1 学校教育 中柱(1)持続可能な社会の創り手の育成 小柱②いじめ・不登校対策の推進	不登校支援が周辺の市より不十分だと感じます。小学生が対象の学習支援制度や学校に行けない子のための支援ルームを準備してほしいです。無料で利用できるフリースクールを作るか、助成金を作ってほしいです。
2	大柱1 学校教育 中柱(2)確かな学力と自立する力の育成 小柱④教育DXの推進	タブレット端末の使用による視力の低下についてどう考えているか。
3	大柱1 学校教育 中柱(2)確かな学力と自立する力の育成 小柱④教育DXの推進	ICTへのプラスマイナス面への対応、学びについての扱いをもっと大きくとりあげて良いのでは。「主体的な学び」をキーワードに入れるべき。
4	大柱1 学校教育 中柱(3)多様なニーズに対応した教育の推進	自立的な学習という観点が必要なのではないか。
5	大柱1 学校教育 中柱(5)学校施設の適切な維持・管理 小柱①学校施設・設備の適切な維持管理	七小の教室が暑いので、クーラーを充実させて欲しい。

第4章 環境・市民生活・コミュニティ

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱2 ごみ処理 中柱(1)ごみの減量・リサイクルの推進 小柱①排出抑制の推進	ごみを減らすため、どのような取組をしているか？
2	大柱2 ごみ処理 中柱(1)ごみの減量・リサイクルの推進 小柱②資源化の推進	ゴミのリサイクル率を公表して欲しい。
3	大柱2 ごみ処理 中柱(1)ごみの減量・リサイクルの推進 小柱②資源化の推進	ごみはどう分別されて再利用されているのか？ リサイクル率はどのような状況か？ 生ごみも再利用しているのか？

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
4	大柱2 ごみ処理 中柱(1)ごみの減量・リサイクルの推進 小柱②資源化の推進	ゴミを資源にまだまだ出来ると思います。ご用も生まれます。
5	大柱4 コミュニティ・市民活動 中柱(1)コミュニティ活動の推進 小柱②コミュニティ活動の活性化	町内会の加入率が下がっている理由は？ 何か取り組んでいることはあるのか？

第5章 都市基盤・産業振興

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱1 土地利用 中柱(1)利便性の高いまちづくり 小柱③にぎわい・活力のある拠点の形成	市の開発は朝霞駅の方が進んでいると思うので、朝霞台方面も開発が進めばいいと思いました。
2	大柱1 土地利用 中柱(2)特性に応じたまちづくり	あずま南土地区画整理事業はどんな土地利用を想定しているのか。
3	大柱1 土地利用 中柱(3)人中心の歩きたくなるまちづくり 小柱①居心地の良い空間づくり	朝霞は歩道が整備されておらず歩きづらいところが多い(片側しかない歩道が交叉点で急に反対側に歩道が移るなど)点を改善してほしい。
4	大柱2 道路交通	道路の排水対策をしてほしい。
5	大柱2 道路交通 中柱(1)やさしさに配慮した道づくり 小柱①幹線道路網の整備	出雲大社のある通り(市道1号線)が、道路幅員が狭いわりに、通行車両が多く、子供の安全等不安ある。市はどのように考えているのか。一方通行にはできないのか。
6	大柱2 道路交通 中柱(2)良好な交通環境づくり 小柱①安全・快適な交通環境の整備	浜崎分署前交差点の舗装を修繕してほしい。 朝霞台駅半径5kmのキープレフトラインを復旧してほしい

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
7	大柱3 みどり・景観 中柱(2)うるおいのある 生活環境づくり 小柱①水と緑のネット ワークの充実	水道橋付近の黒目川の土手の除草をしてほしい。
8	大柱3 みどり・景観 中柱(2)うるおいのある 生活環境づくり 小柱③みどり空間の魅 力向上	青葉台公園の水施設は、貴重な夏季の子供の遊び場として長期間 使用できるようにお願いしたい。 財政面で厳しければ、時間を短くしても構わないので、期間を延 ばせるよう検討してほしい。
9	大柱4 住宅 中柱(1)安心で快適な住 環境の整備 小柱①空き家対策の推 進	空き家、空き店舗を地域住民による支え合い活動団体が借り入れ しやすくなる制度を作ってください。
10	大柱5 上下水道整備	上下水道の取り組み状況を教えてほしい
11	大柱5 上下水道整備 中柱(2)公共下水道の整 備 小柱②雨水浸水対策の 推進	雨水管網図はホームページなどからみることにはできるのか

第6章 政策を推進するための取組

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	大柱2 市民参画・協 働 中柱(1)市民参画と協働 の推進 小柱①市民参画の機会 の充実と推進	成果指標について市民参画で協働事業を増やすとのこと、ぜひ増 やしてほしい。
2	大柱2 市民参画・協 働 中柱(1)市民参画と協働 の推進 小柱①市民参画の機会 の充実と推進	ある計画の策定に携わる中で、市民からも非常に価値のある意見 があることを感じた。 計画の作成に当たっては、なるべくコンサルに頼らないで、市民 参画を進めていくべきである。

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
3	大柱2 市民参画・協働 中柱(1)市民参画と協働の推進 小柱①市民参画の機会の充実と推進	市民参画と協働の推進の指標で「NPO やボランティア等との協働事業数」とあるが、 ①活動団体への助成も事業数にカウントされているのか。 ②単独の団体とも協働事業を行うことは可能なのか。 ※〇〇ネットワークや〇〇協会等の団体でなくても可能か。
4	大柱3 行財政 中柱(2)公平・適正な負担による財政基盤の強化	ふるさと納税の寄附額を上げていくため、返礼品をモノではなく、市の魅力が伝わるような体験型のものを検討してはどうでしょうか。
5	大柱3 行財政 中柱(2)公平・適正な負担による財政基盤の強化 小柱②効果的な財政運営	財政政策（増収など）の展開がもっとあってもいいかと思いました。
6	大柱3 行財政 中柱(4)デジタル化の推進 小柱②市民に寄り添うデジタル化	DXを進めることで、いずれ紙の申請等は完全になくなるのか。
7	大柱3 行財政 中柱(4)デジタル化の推進 小柱②市民に寄り添うデジタル化	DXを推進することは必要なことだと理解できるが、高齢者等デジタルデバインドへはどのように対策するのか。

(3) 市民意見交換会について

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
1	市民意見交換会	パネルが多少見にくい。
2	市民意見交換会	直接市の方に相談や質問ができて良かった。
3	市民意見交換会	もう少し文字が大きいとありがたいです。それぞれの分野に担当の職員さんがいらっやって、聞きやすかったです。
4	市民意見交換会	分かりやすくて良いと思います。

No.	該当箇所・見出し等	市民からの質問・意見・要望
5	市民意見交換会	非常に良くまとまっている印象を受けました。今後10年の未来の朝霞を感じました。この先のまでが楽しみです。計画の審議が丁寧に行われていることを知りました。会場にデジタルの要素（アンケートタッチパネル、動画映像など？）があると良いかと思えます。
6	市民意見交換会	市民の意見を聞いて頂ける場があることは非常に良いことと思います。市民の声を実施計画等に反映して頂ければ幸いです。
7	市民意見交換会	5才の子供（正直明らかに政策に興味があるわけではない）が入りたいというので来ましたが、皆さんころよく受け入れて下さいました。それだけでも子供を大切にしてくれるいい市だと思いました。
8	市民意見交換会	辛口ですがもっと大々的に市民に周知すればこれらと思う（人の少さ）
9	市民意見交換会	若い世代の方にもこのイベントに興味を持ってもらえるように、もう少し写真やイラストなど、イメージしやすい展示もあってほしいと感じました。
10	市民意見交換会	もう少し具体的な施策が示してあると良いと感じた。地名、时期的目標など（中柱と小柱の差が少ない）写真、図を多くして理解容易にすべき。
11	市民意見交換会	実施計画に対する意見聴取の機会はないのか。
12	市民意見交換会	今回は総合計画（素案）にかかる市民意見交換会だが、素案としてまとまる前にこのような場を設けたのか。

3 展示パネル

【全体像及び基本構想素案】

市民意見交換会

パネル内容や職員からの説明をもとに、「第6次朝霞市総合計画」の素案に対する皆様のご意見をお聞かせください。

総合計画とは？

朝霞市総合計画は、本市におけるまちづくりの最上位に位置付けられる計画です。市のすべての分野において基本となるまちづくりのための計画で、基本構想、基本計画、実施計画の三層で構成されています。令和7年度（2025年度）までで第5次朝霞市総合計画の期間が終了することから、新たな総合計画を策定します。

基本構想

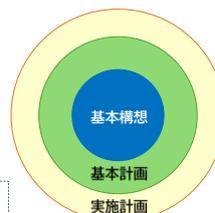
市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けた政策の方向性を示します。

基本計画

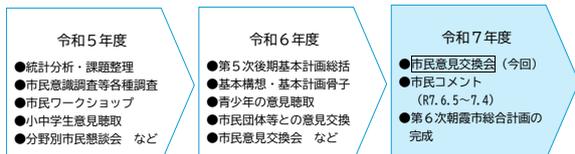
基本構想を実現するための市の具体的な施策を分野別に体系的に示します。前期と後期に分け、それぞれ5年間で計画期間とします。

実施計画

基本計画に定めた各施策を展開するためのより具体的な事務や事業の内容を示します。



計画策定と市民参画の主な流れ



今回の市民意見交換会は、基本構想・基本計画の素案の内容について、広く市民の皆さんにお示しし、ご意見を伺う機会となります。

基本構想（素案）

市民の皆さんと市がともに目標とする将来像を描き、その実現に向けた政策の方向性を示します。

【計画期間】令和8年度（2026年度）から令和17年度（2035年度）までの10年間

朝霞市が目指すべき方向性

将来像

朝霞市は、武蔵野台地に育まれた緑と水辺に恵まれ、交通利便性の高い東京近郊の住宅都市として発展し、市制施行時に約5万5,000人だった人口は、これまで増加を続け、令和7年（2025年）には約14万6,000人を有する都市に成長してきました。

これからも、朝霞市の強みである生活利便性や安全性、恵まれた自然環境、朝霞市民まつり「彩夏祭」に代表される文化などを、未来に継承していきます。さらには、近年希薄化しつつある人と人とのつながりの再生や、協働によるまちづくりの活性化を通じ、第5次総合計画の将来像として掲げた『暮らしつづけていまち』をさらに洗練することで、誰にとっても魅力的で誇りを持って、住みやすいまちを目指すものとし、将来像を次のとおりとします。

「だれもが誇れる 暮らしつづけていまち 朝霞」

将来像実現のための基本方向

将来像を実現するためには、市政運営の大きな方向性を示し、みんなが方向性を同じくして取り組んでいくことが大切です。そこで、将来像の実現のための基本方向を3つ掲げます。

安全に、安心して暮らせるまち

“安全に、安心して暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「災害や犯罪への対策が充実しており、安全に暮らしていける」と実感できるまちを目指します。

また、「子育て支援等の福祉サービスや、市民の健康づくりへの支援等が充実しており、安心して暮らしていける」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉
○災害対策・防犯
○福祉・子ども・健康

自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち

“自分らしく学び育ち、心地よく暮らせるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「充実した教育を受けながら成長し、活躍する場がある」と実感できるまちを目指します。

また、「恵まれた自然環境の中で、人と人とのつながりがあり、住みやすい環境がある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉
○教育・文化
○環境・市民生活・コミュニティ

快適に暮らせる、にぎわいのあるまち

“快適に暮らせる、にぎわいのあるまち”として、子どもや高齢者、障害者等、誰もが「道路や公園等のインフラが整備され、便利さと快適さがある」と実感できるまちを目指します。

また、「地域の特性を生かした産業の活力があり、にぎわいがある」と思えるまちを目指します。

〈関連する主な政策分野〉
○都市基盤・産業振興

共通理念

将来像の確実な実現に向け、全ての政策を推進するための「共通理念」を3点掲げます。

この共通理念は、行政のみならず、市民、市民活動団体、さらには事業者や学術研究機関など多様な主体が共通して理解し、常に心がけてほしい姿勢となります。

多様性を尊重し、認め合い助け合ってまちをつくる

朝霞市にはさまざまな人々が暮らし、個性や価値観、社会的な状況なども多様です。また、人々と同様、朝霞市の各地域にも、それぞれの個性があります。

これからのまちづくりでは、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）や多様性（ダイバーシティ）を尊重し、人の個性や地域特性の多様性を尊重し、認め合い助け合いながら、未来の朝霞をつくっていきます。

主体的に参画し、愛着をもってまちをつくる

地域における課題解決に向けては、行政だけではなく、市民等それぞれが自分ごととして捉え、さまざまな視点から主体的に活動することが大切になります。

これからのまちづくりでは、市民にとって市政への参画が身近であるまちを目指すとともに、参画と協働を通じてまちへの愛着を育みながら、未来の朝霞をつくっていきます。

連携と創意工夫によって、持続可能なまちをつくる

複雑化・多様化した課題の解決には、広域的な視点や、市民など行政以外の視点を取り入れることが欠かせません。

これからのまちづくりでは、他の自治体や市民等のまちづくり活動の主体と連携し、デジタル技術の活用など絶え間なく創意工夫を重ね、市民生活を安定的に支えられる行政基盤を構築しながら、未来の朝霞をつくっていきます。

政策分野

基本構想に掲げる将来像や将来像実現のための基本方向を踏まえ、政策分野を次のとおりとします。

なお、社会経済情勢の著しい変化に対応していくため、ここでは政策分野のみを示し、具体的な施策や取組については基本計画に位置付けます。

災害対策

防犯

福祉

子ども
健康

教育

文化

環境

市民生活
コミュニティ

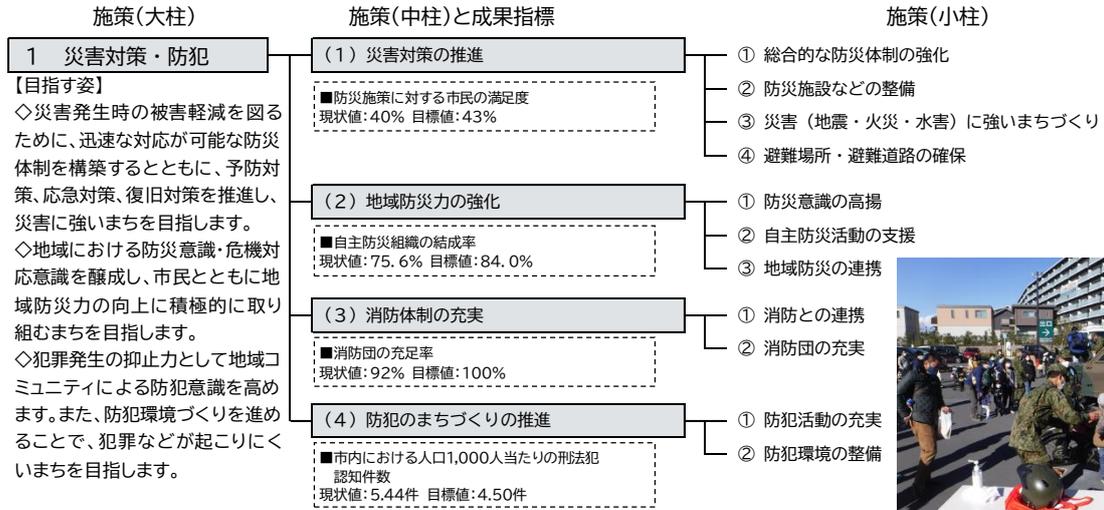
都市基盤

産業振興

政策を推進するための取組

【基本計画素案】

第1章 災害対策・防犯



防災フェア



防犯パトロール

第2章 福祉・子ども・健康



障害者芸術体験教室



子育て世代包括支援センター

第3章 教育・文化

施策(大柱)

施策(中柱)と成果指標

施策(小柱)

1 学校教育

【目指す姿】
 ◇こどもに豊かな心と健やかな体を育むとともに、「令和の日本型学校教育」の理念に基づく個別最適な学びと協働的な学びにより社会の創り手となる力を身に付け、質の高い学校教育を支える教育環境が充実したまちは目指します。
 ◇学校・家庭・地域が相互に連携・協働し、地域全体の教育力が向上しているまちは目指します。



研究開発学校指定研究発表会

(1) 持続可能な社会の創り手の育成

■埼玉県学力・学習状況調査の質問紙調査における「将来の夢や目標を持っていますか。」の回答状況
 現状値:92% 目標値:100%

- ① 豊かな心を育む教育の推進
- ② いじめ・不登校対策の推進
- ③ こどもの意見反映を推進するとともに人権を尊重した教育の充実
- ④ 体力の向上と学校体育活動の推進
- ⑤ 健康の保持・増進

(2) 確かな学力と自立する力の育成

■埼玉県学力・学習状況調査における「学力を伸ばした児童生徒の割合」達成状況
 現状値:11/11教科 目標値:11/11教科

- ① 個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実
- ② キャリア教育と職業教育の推進
- ③ 伝統と文化を尊重し国際性を育む教育の推進
- ④ 教育DXの推進
- ⑤ 特別支援教育の推進

(3) 多様なニーズに対応した教育の推進

■学校に行きづらい児童生徒へのICT支援実施率
 現状値:40% 目標値:90%

- ① 共生社会を目指した支援・指導の充実
- ② 学校に行きづらい児童生徒への支援の推進
- ③ 一人一人の状況に応じた支援

(4) 質の高い学校教育を推進するための環境の充実

■教育委員会アンケート(こども対象)において「学校はICTを活用した教育を推進している」の回答状況
 現状値:70% 目標値:90%

- ① 教職員の資質・能力の向上
- ② 学校の組織・運営の改善
- ③ こどもの安全・安心の確保
- ④ 小中一貫教育の推進
- ⑤ 適切な教育環境の設定
- ⑥ 安全・安心で持続可能な学校給食の提供

(5) 学校施設の適切な維持・管理

■学校施設長寿命化計画の進捗率
 現状値:- 目標値:12.5%

- ① 学校施設・設備の適切な維持管理
- ② 長寿命化を見据えた学校施設の改修等の実施
- ③ 目標使用年数を迎える学校施設の改築の実施
- ④ 教育課題に対する施設面での解決策の検討

(6) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上

■学校評価における地域連携に係る項目の回答状況
 現状値:73% 目標値:80%

- ① 地域と一体となったコミュニティ・スクールの推進
- ② 生涯スポーツ・文化活動を支える地域クラブ活動の体制整備
- ③ 貴重な地域人材の教育活動への積極的参画
- ④ 学校・家庭・地域の教育力向上のための支援

2 生涯学習

【目指す姿】
 ◇市民のニーズに応えた学習、文化活動など、情報の提供や活動を通して「いつでも」、「どこでも」、「誰でも」、生涯にわたって行う「学び」を支え、その成果を生かすことができるまちは目指します。

(1) 生涯にわたる学びの推進

■事業参加者満足度
 現状値:92.8% 目標値:95.0%

- ① 生涯学習推進体制の充実
- ② 学習情報の提供と学習機会の充実
- ③ 豊かな地域文化活動に向けた団体、学習グループの支援とリーダーの育成・活用
- ④ 放課後のこどもの居場所づくり

(2) 学びを支える環境の充実

■公民館、図書館、文化財課が行う生涯学習事業の参加者総数
 現状値:35,000人 目標値:40,000人

- ① 学習活動の支援・充実
- ② 利用しやすい施設の提供

3 スポーツ・レクリエーション

【目指す姿】
 ◇スポーツ・レクリエーション施設、事業が充実し、新たな指導者が育ち、市民がいつでもどこでも気軽にスポーツ・レクリエーションに親しめるまちは目指します。

(1) スポーツ・レクリエーション活動の推進

■週1回以上スポーツを行っている人の割合
 現状値:48.4% 目標値:60.0%

- ① 推進体制の充実
- ② 活動情報の提供の充実
- ③ スポーツ事業の充実
- ④ 豊かな地域スポーツ活動に向けた団体、指導者の育成・支援

(2) 利用しやすい施設の提供

■スポーツ施設(14施設)の利用率
 現状値:60.3% 目標値:63.0%

- ① 利用しやすい施設の整備
- ② 利用しやすい施設の運営



市民スポーツ大会

4 地域文化

【目指す姿】
 ◇市民が芸術文化活動の成果を発表できる場と機会が確保され、さまざまな芸術文化にふれあうことができるとともに、「彩夏祭」などの地域イベントが市民の手で継続して開催され、次世代に地域文化が歴史や伝統とともに継承され、郷土に対する愛着や誇りを持てるまちは目指します。

(1) 歴史や伝統の保護・活用

■文化財課が行う事業に対する満足度
 現状値:60% 目標値:70%

- ① 文化財の保護・活用・伝承支援
- ② 地域資料の専門的調査研究とその成果の展示・公開
- ③ 小・中学校等と連携した学習活動

(2) 芸術文化の振興

■文化祭入場者数
 現状値:9,000人 目標値:9,500人

- ① 芸術文化の活動の充実支援
- ② 発表と鑑賞の機会の充実支援

(3) 地域文化によるまちづくり

■朝霞市民まつり「彩夏祭」来場者数
 現状値:730,000人 目標値:730,000人

- ① 地域文化の発信
- ② 地域間・都市間交流の推進

第4章 市民生活・環境・コミュニティ



きれいなまちづくり運動



地域デビュー支援セミナー

第5章 都市基盤・産業振興



スムーズ横断歩道



雨水管敷設工事

第6章 政策を推進するための取組



分野別市民懇談会



暮らしの便利帳あさか

4 募集チラシ

市民意見交換会 市民コメント

第6次朝霞市総合計画（素案）への
あなたのご意見を2つの方法で募集します



●市民意見交換会（オープンハウス形式）

第1回 令和7年6月25日（水）
午後5時から午後7時まで
中央公民館・コミュニティセンター
展示ギャラリー

第2回 令和7年6月29日（日）
午前10時から正午まで
産業文化センター ギャラリー

- ◆第1回と第2回の内容は同じです
- ◇どなたでもご参加いただけます
- ◆参加費は無料です
- ◇事前申込は不要です
- ◆開催時間内の出入りは自由です



市民意見交換会
の詳しい案内はこちら

オープンハウス形式とは…
説明パネル展示と合わせ、市の職員が皆さまに説明させていただくとともに意見等を伺う説明会形式です



●市民コメント

<意見募集期間>
令和7年6月5日（木）から
令和7年7月4日（金）まで【必着】

<意見提出方法>

- ◆郵送、F a x、電子メールまたは政策企画課（市役所3階35番）へ持参
- ◇匿名及び電話での受付はできません
- ◆様式は問いません

<資料閲覧場所>

政策企画課、市政情報コーナー、各公民館（南朝霞公民館を除く）、図書館（本館・北朝霞分館）、内間木支所、各出張所、市ホームページ

市民コメントの
詳しい案内はこちら



朝霞市役所 政策企画課

TEL 048-463-3089

FAX 048-463-0770

E-mail seisaku_kikaku@city.asaka.lg.jp